



お近くのASA(朝日新聞販売店)がお届けする地域情報紙。主役はこの街にお住まいの皆さまです。 ◆毎月5日発行◆

2011年3月号

◆ Vol.85 ◆

発行所

ASA千葉中央 ASA新千葉
ASA千葉幸町 ASA千葉寺
ASA青葉の森 ASA黒砂
ASA千葉桜木町 ASA本千葉

カラー版「こあじさし」はネットでお楽しみください。 <http://www.asa-nia.com/koiisashi/>

【発行所】〒242-0292 千葉県千葉市中央区

行ってみました！ 千葉公園野鳥観察会

2月13日(日)

驚くほど多様な鳥たちに出会いました！

JR千葉駅から徒歩10分ほど、市街地の都市公園で行われた野鳥観察会ですが、そこには多くの鳥たちとの出会いがありました。千葉公園の公園ガイドの一環として行われたこの催し、迎えてくれた鳥たちとともにご紹介します。

講師の箕輪義隆さん



キンクロハジロやホシハジロなどのカモたちも、ユリカモも……時折、こぎやかの羽をまてて遊び交います。そんな時は大人気の観察ポイント……

◆ 急遽日程を変更しての開催に

おだやかな日差しに恵まれた日曜日、千葉公園・綿打池畔の蓮華亭に集まったのはおよそ20人ほど。公園主催の野鳥観察会の参加者の皆さんです。実はこの催し、前日の12日(土)に開催される予定でしたが、事前に出された降雪予報で急遽翌13日(日)に延期されたもの。中央・稲毛公園緑地事務所所長の斉藤久芳さんはじめスタッフの皆さんが定員30名の参加者に日程変更を連絡したものの、連絡がとれなかった人もいたそうで、何人かは12日に来場。結果、12日と13日の2日間に振り分けての観察会となりました。

取材したのは13日。参加者ともども「こあじさし」も観察会に同行し、ふだんは市民の皆様活躍ぶりを被写体におさめる取材カメラを野鳥たちにも向けてみました。

水鳥研究会東京湾グループ代表で

野鳥イラストレーターとしても活躍する講師・箕輪義隆さんの案内で蓮華亭を出発、綿打池周辺を巡るおよそ1時間ほどの行程。まず出迎えてくれたのはおよそ150羽を数えるキンクロハジロやホシハジロなどの冬鳥たち。餌付けは禁止されているのですが、それでも時折エサを投げ込む人もいるせいかな影を見ると寄ってくるのだそうで、この日も多くの水鳥たちが愛らしい姿を見せてくれました。餌付けの弊害は知りつつも、「こんなに近くで観察出来るなんてうれしいですね」と参加者。

◆ 間近に観察出来る好スポット

周辺を見渡すと他にも多くの鳥たち。ユリカモメ、ダイサギ、コサギ、アオサギに加え、カワウやコガモ、ハシビロガモ、コバルト色が美しいカワセミも姿を見せてくれました。

「人間にはまだまだ寒い2月ですが、鳥たちにとってはもう春。恋の

季節です。だから姿の美しさで辛を誘うカモの子どもたちは今が一番美しい。それが間近に観察出来るのでここはとても恵まれています。初心者でも楽しめる観察スポットですね」と箕輪さん。「この公園で、おそらく40～50種の鳥が観察出来ると思います。少しずつでも鳥名や鳴き声を覚え、楽しんでもらえたらと思います」とも。

ちなみに、「コアジサシも春から夏にかけて時折この池に來ます。運がよければ魚を捕る姿を見られるかも」と公園事務所所長の斉藤さん。ますます目が離せない、「絶好の野鳥観察スポット」です！

笑顔で説明する中央・稲毛公園緑地事務所所長の斉藤久芳さん(季節に応じて公園ガイドを調整しています。4月には桜の観察会も行いますので、ぜひ参加してください)

ホシハジロ



オスのハシビロガモが2羽で……もしかしたら恋のライバルかも？



蓮華亭で話を聞いて… 観察に出発！



多くの水鳥たちが迎えてくれました



双眼鏡や望遠鏡で観察……



観察の後は蓮華亭でミニレクチャーも



一番の多数派はカモたち。写真は冠羽を風になびかせるキンクロハジロ